

G

GOVERNOR'S

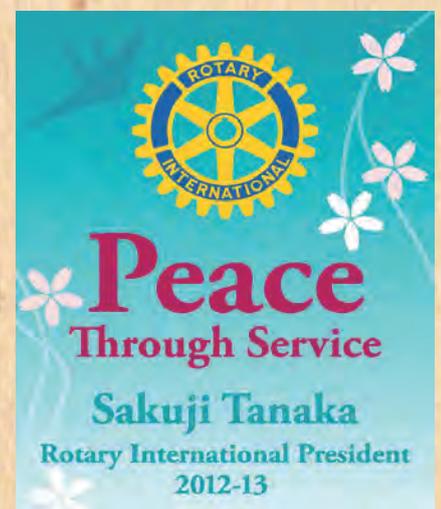
MONTHLY LETTER

2013. 最終号

2012-2013 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560



ガバナーメッセージ	2
地区幹事メッセージ	3
各分区ガバナー補佐メッセージ	4
各地区委員長メッセージ	8
ロータリークラブ「山の会」報告	18
防減災セミナー第二部報告	19
R財団・米山奨学分区別一覧	25
会員数及び出席報告・地区主要行事	26





ブラボー2560地区！ 心から感謝を込めて！！

国際ロータリ第 2560 地区
2012-13 年度 ガバナー
鈴木 重壺（長岡 RC）

田中作次RI会長方針である「奉仕を通じて平和を」の具現の為に、欠かせない理念として「恕を以て和を為す」を地区スローガンに掲げ、ロータリアン諸兄と共に大海原に出向し、今、実り豊かな航海を無事終え、母港に帰航する事が出来ました。

これも一重に、地区内2千人ロータリアンの勇気と友情と努力の賜物であり、改めて深く感謝いたしますと共にロータリーの素晴らしさを共有できました事に感慨一入であります。

振り返れば鈴木年度は実に30年ぶりに日本からのRI会長の輩出、しかも我が2560地区、長岡市栢尾ご出身の田中作次氏であったこと。3年に1度の規定審議の年回り、そして、GSEからVTTへの移行期、財団未来の夢計画への最終準備年度と国際ロータリーとして、時代を大きく変えうる変革期の真ただ中であつたと云って良いと思います。

地区内に於いてはクラブ主体主義を根底に、ガバナー公式訪問を軸として各クラブが抱える様々な問題に耳を傾け、明日への活路を見出そうと皆様と胸襟を開いた意義ある懇談をさせていただきました。

特に今年度からロータリーと地域の更なる相関関係増幅の必要性から、新たにロータリー地域協働ネットワークセンターを発信し、ご理解を頂くために「ロータリー防滅災セミナー」を開催すると共に「全国植樹祭イベント植栽への共催」、「いのちの電話・犯罪被害者支援組織・ボーイスカウトへの支援」など、文字通り地域と密着しながらロータリーを発信することに努めました。

また、これからのロータリー活動での大きなポジションと責任を真正面から受け止め、組織強化に向けて果敢に挑戦頂いたロータリー財団委員会。不穏な国際情勢の中で日本の立ち位置を明確にしながらアジア諸国を中心にした青少年の交流をさらに進化させるべく努力された米山記念奨学委員会。

そして、田中会長が心血を注がれドイツ・オーストラリア・日本と世界の3会場で開催された「ロータリー国際平和フォーラムin広島」へは、田中会長の出身地区という誇りもあり、地区内のインターアクト・ローターアクト・青少年交換の学生諸君の意欲的な参加で他地区からも注目される立派な活動結果を導き出していただいた国際奉仕・新世代奉仕・青少年交換委員会の強力な連携プレーで「次世代を育てよう！今日の飯より明日の人材」を合言葉に大きな成果を上げていただきました。

世界平和フォーラム広島（H25. 5. 17～18）



職業奉仕ではロータリーの原点である職業奉仕精神の周知。社会奉仕では北朝鮮による拉致被害者の救援のための支援活動を始め地域社会へ向けた積極的な取り組みを進めて頂きました。

そして、年度最終に開催されたリスボン国際大会では、遠距離というハンディをものともせず遠隔地の開催では例を見ないほどの大勢の参加者に、田中 RI 会長も感激されお忍びで地区ディナー懇親会に参加していただき、親しく懇談をさせて頂きました事も素晴らしい思い出となりました。

1年を振り返り改めて言えることは、ガバナー補佐の皆様のご尽力と共に、クラブ会長さん方のご協力、そして具体的事業を前向きに進めていただきました各委員長の皆様、いつも陰ながら暖かいご支援を頂きました歴代のバスターガバナーの皆様、そして、全てのロータリアンの皆様方から年度事業を盛り立て、お導き頂きましたればこそと深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第でございます。誠にありがとうございました。

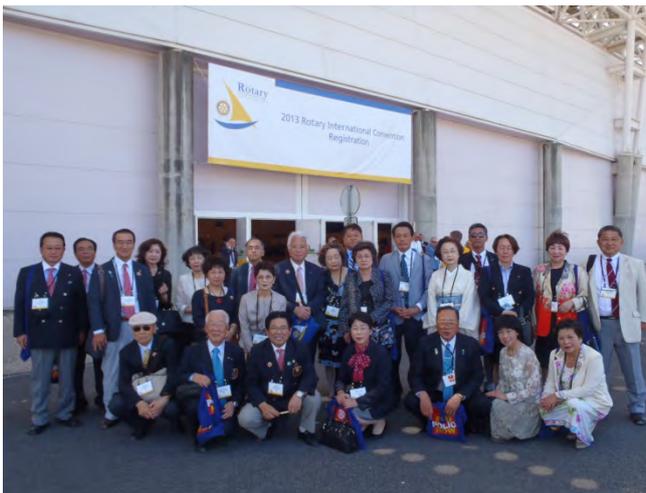
全国植樹祭イベント(H25. 5. 25 長岡市山古志油布地内に於いて)



ロータリー防減災セミナー(H25. 5. 26 長岡市山古志ロータリーハウスに於いて)



ロータリー国際大会オンツリスボン(H25. 6. 21~27)





地区幹事としての感謝のことば

国際ロータリー第 2560 地区
地区幹事 佐藤 松雄 (長岡 RC)

私が地区幹事を命じられた時思い浮かべたことは、白髪が似合う、非常に穏やかで温厚な口調で語りかける、物事の判断においても寛容な広い心を持ち、常に優しく声を掛けてくれる心暖まるロータリアンがおられました。我が社の元社長である廣井継之助さんです。

約 50 年前ガバナーをされていた事は認識しておりました。白髪、温厚、寛容な人物が地区ロータリアンの頂点、ガバナーと私の頭の中にはイメージが定着しておりました。

時代が過ぎ、半世紀の後に実行力を有し、温厚・寛容な鈴木重壺ガバナーの下で地区幹事として地区との係わりを持つとは思いませんでした。長岡ロータリーも 2012 年～2013 年鈴木重壺ガバナー誕生によりお互いの協力関係等々、クラブの活性化に大きな前進をもたらしました。

私も鈴木重壺ガバナーより地区幹事と大役を命じられ、大変有意義な時間をいただき、ロータリーの地区の役割を深く知ることができ感謝しています。

地区としての始まりは、PETS(会長エレクトトレーニングセミナー)で次年度会長の準備そして、地区協議会は地区運営に関する方針を討議する場であり、この地区協議会が終われば次年度のロータリー活動に向けて、地区も各クラブも準備が整い新しい年度を迎える事となります。

充実した次年度に向け決意を新たにす訳ですが、ロータリーは奉仕活動を行うにあたって各クラブが絶対的な自主権を持っているという事です。R1 は如何なるクラブに対しても、特定の奉仕活動を命じたり、禁止したりすることは絶対にしてはならないという原則です。R1・地区・クラブという組織があるが決して上下関係ではなく、各クラブの活動を定めるのはあくまでも各クラブの自主判断によるものであり従って、地区は各クラブの方向性、活性化を手助けする役目であると認識しました。

日本のロータリー全体が今抱えている問題は特に急激な出席率の低下と会員的大幅な減少に各クラブが直面しているのではないのでしょうか。思うにロータリーの活性化は各クラブが時代に合った変革と長期的な計画の作成とそれに基づくそれぞれのクラブの伝統に、実績と現状認識の上でクラブの魅力は…、クラブの地域社会における存在価値は…、そしてどういったサービス(奉仕)で社会に貢献していたか充分検討し、ロータリーが組織として継続的な見直しをすることによって絶えず進化、発展するよう今後、各クラブで CLP を導入・検討し、将来のクラブの在り方を含め大きな成果を期待するところです。

継続は力なり。クラブの活性化、会員増強に繋がっていただきたい。

R1 が唯一法人会員としてロータリー財団の管理をしている中で、ロータリー財団のプログラムは大きく分けて『教育プログラム』、『人道的プログラム』、『ポリオプラス』だと思います。プログラムは皆さんの寄付によって賄われています。

そんな中で今年 7 月 1 日より、ロータリー財団の新しい補助金モデル「未来の夢計画」が全世界で導入されます。未来の奉仕をさらに向上させるために始められた大胆なこの計画は、革新的な取り組みに対して贈られる「エンジン賞」を受賞することができたとの事、未来の世代のために新しい補助金モデル「未来の夢計画」に期待したいと思います。

最後になりましたが第 2560 地区 57 クラブがより活性化し、地域活動がこれからも一層盛んになりますよう心より願いお礼のあいさついたします。



「メイキップをお奨めします」

第1分区ガバナー補佐
井岡 英夫(水原 RC)



「ガバナー補佐1年を振り返って」

第2分区ガバナー補佐
箕輪 光泰(新潟中央 RC)

「恕を以て和を為す」

なんと日本的な響きを感じる言葉であろうか。鈴木重彦ガバナーの人柄がこの言葉で読み取れた。

昨年六月末から村上岩船ロータリークラブを皮切りに各クラブ訪問をスタートさせました。ロータリーの会員が減少する中、意気消沈のクラブもあるのではないかと内心穏やかではなかったが、9クラブ一巡してその心配は吹っ飛んだ。二回目からは楽しい訪問となりました。各クラブさんの歴史が感じ取れた上に、どのクラブの会長さんも積極的で元気はつらつ、クラブ活性化に向けてやる気に満ちていました。

社会奉仕では小学生と共にごみ拾いをして、地域の話題になったクラブもありました。

会長スピーチでは「職業意識を高めよう」、又、「職業奉仕の質の向上に努めよう」と複数のクラブ会長さんが会員の皆さんに語りかけました。

「ロータリー地域協働ネットワーク」構築の件では、第一分区会長、幹事会に鈴木ガバナーより御出席いただき、勉強会を開催させていただきました。各クラブではいろいろ知恵を絞り、徐々に準備を進めています。

少数会員のクラブでありながら、ガバナーを輩出された中条クラブさんに敬意を表しますと同時に、山崎ガバナーと時田地区幹事(入会三年目)さんには「ロータリーにはノーがない」の見本を見せていただきました。また、前鈴木ガバナーのロータリーへの情熱には敬意を表します。大変御苦労様でした。

第2560地区第一分区のクラブ会員の皆様には大変多くのものを教えていただきありがとうございました。感謝申し上げます。

第2分区は旧新潟市内7つのクラブと佐渡の2クラブ、合計9クラブで構成されています。会員数も13名のクラブから80名を超えるクラブが2クラブもあり様々です。各クラブそれぞれが、ローターアクト、インターアクトの支援、少年野球のサポート、福祉作業所の支援等個性を発揮して行動し、楽しくロータリー活動を行なっています。

今年度第2分区は鈴木ガバナーのご理解を得て、ガバナー公式訪問の形式を変更させていただきました。今までは、ガバナー訪問時にクラブの各委員会担当者が現状報告書を読み上げ、それに対してガバナーが大まかに講評をして終了するという形だけのつまらない印象がありましたので、より内容の濃いガバナー公式訪問にしたいと考え、前もって各クラブよりロータリー活動に関して、或いはガバナーに対しての質問、要望等を提出して頂き、当日ガバナーとの質疑応答を中心に会を運営する形式へと変更させていただきました。各クラブ会長、幹事より概ね賛同を頂き、また、好評を得ることができました。各クラブのご協力にこの紙面を借りまして感謝申し上げます。

山崎ガバナー、新保ガバナー補佐に於かれましてもこのスタイルを継承していただけると伺いました。どうぞ、よろしく願いいたします。

最後に国際ロータリークラブ第2560地区そして第2分区の益々の発展を祈念致しております。



「一年を振り返って」

第3分区ガバナー補佐
藤村 平一郎(白根RC)

平成24年7月から始まった第2560地区 鈴木年度が、あっという間に1年経過致しました。その間第3分区の会長幹事さん各会員の皆様に大変お世話様になりました事、心より感謝申し上げます。5%増強が目標でありました会員増強、それぞれのクラブで1~2名増強が達成されておりますが私の所属する白根クラブでは、残念ながら会員の様々な都合により、5名減の状態であります。若い会員の勧誘に一生懸命ですが、中々難しい状態です。青少年に対する活動では、小中学生の野球大会が各クラブ主催で行われ毎年の重要な行事になっております。又、新津中央RCさんの国道403号線の花の群生実現は素晴らしい景観であり、毎年実行されており敬服しております。

第3区分1Mは、10月13日(土)に行われましたが、鈴木ガバナーより基調講演として「奉仕を通じて平和を一怒をもって和を為す」をお願いしました。又鈴木ガバナーの提唱されました「ロータリー地域協働ネットワークセンター」が設置されます事で詳しくご説明いただきました。ネットワークの輪が広がり、災害の多い我が県の為に活動出来ます様、願っております。6月23日、ポルトガル・リスボンでの2013年国際ロータリー一年次大会に参加してきました。全世界より2万人のロータリアンが集い、盛大な大会でした。大会終了後、食事会の時にRI会長田中作次氏とも、親しく歓談出来ました事、感謝しております。

ロータリーに出席する楽しみ、いろいろと勉強になる楽しみ、若い人達を育てる楽しみの中から、それぞれの職業奉仕を通じた発展と平和が、必ず達成出来る事を念じております。第3分区のロータリアンの皆様に心から深く感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



「学びの必要性を感じた一年」

第4分区ガバナー補佐
杉山 太三郎(巻RC)

振り返れば、ロータリー生活の充実した一年でした。

第四分区は県内7分区の中でも、11クラブで構成されている分区であります。幸いにも去る2002~2003年にAG役を拝命し経験させて頂いた経緯もありIMの企画に際して形式化されたプログラムに拘らず、IMの基軸を崩す事もなく他に類の無い企画を試み、実行致しました。

当日のテーマは「共働、共汗、共学」を掲げ、軽装な格好で参加して頂き海岸清掃で共に働き、共に汗を流した事の共同作業は会員の連帯感を高めました。大量に集積されたゴミと、きれいに清掃された海岸と海とが折り重なった景観は、格別な清々しさと達成感を感じた事を記憶しています。日帰り温泉で汗を流した後、自衛隊一等陸佐 吉田賢一郎氏より「東日本の被災地の状況と自衛隊活動」のテーマで講演を頂き、改めて現地の悲惨な実情を肌を感じると共に、私達を取り巻く環境に感謝を致しました。その後、懇親会では清掃作業の話題で持ちきりとなり、大盛況のうちに幕を閉じた事を思い出します。

事業としては第四分区全員の「顔」をもっと身近に感じたいという思いから会員相互に役立てる名簿を作成した事です。会員名簿は各クラブで毎年、現況報告書に記載されていますが、第四分区全体となりますと、なかなか会員同士の「顔」と職業の詳細がわかる名簿作成がありません。名簿には、各企業の広告スペースを設け、十分に自己PRをしてほしいとお願い致しました。信頼できる会員同士の職業間取引が生まれる事を切望しているからであります。

今こそ、ポール・ハリスが仲間3人とロータリークラブを設立した当時の原点に戻る組織全体の意識変革が必要な時期ではないかと提言致します。会員の減少に苦悩しているのが実情であり、魅力あるロータリークラブに成長させるには、今以上に会員同士が交流できる媒体の作成が必要不可欠に感じているからであります。

最後に、各クラブに4回訪問させて頂きましたが会長、幹事、会員共々に歓待して頂きました事に深謝しております。



「ありがとうございました」

第5分区ガバナー補佐
青木 省一(長岡西 RC)

あつという間の一年でした。鈴木ガバナー事務所の皆様、第五分区の各クラブの会長・幹事さんにはガバナー補佐としての役割を充分行うことが出来ず申し訳なくお詫び申し上げます。

そんな中でクラブ訪問の折、クラブあげて迎えて頂き、いろいろ教えてもらい感謝しています。改めて其々のクラブの特色や雰囲気へ接して貴重な体験をさせていただきました。また訪問の折、多彩な・個性的なメンバーの方々とお話をさせて頂き、たいへん勉強になりました。

そして本年度初めてリスボンの国際大会に出席させて頂きました。世界中のロータリアンが集い盛大な開会式に参加し、その中での田中会長のスピーチやアトラクションは素晴らしいものでした。開会式当日の夕食会に田中会長がお見えになり、1時間近くにわたり貴重なお話を聞くことができたことを楽しく記憶しています。まだ国際大会に行かれた事のない方はぜひ一度行かれることをお奨めします。

たいへん貴重な一年を過ごす事ができ、改めて皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



「ガバナー補佐一年を振り返って」

第6分区 ガバナー補佐
星名 信昭(十日町北 RC)

不安な気持ちでのスタートでしたが、鈴木ガバナーの恕の心と我がクラブや第六分区の皆さんのご支援とご協力で、何とか重責をこなすことが出来ました。

鈴木年度は公式訪問要項が用意され、午前11時から会長幹事懇談会、例会講話、写真撮影、クラブ協議会、午後3時終了と、概ね従来通りでした。懇親会は行わないことと協議会を補佐が進行すること及びクラブ現況報告書が事前に提出してあるのでその説明は特徴や問題点に絞って説明するように指導があったこと、などが本年度の特色であった。懇談会とガバナー講話、クラブ協議会を通して、ロータリーの精神、RIと2560地区の方針、「恕を以て和を為す」とロータリー地域協働ネットワークについて、鈴木ガバナーは自身の言葉で丁寧に熱く語られた。公式訪問は無事終了したが、鈴木ガバナーの恕の心つまり「己の欲せざるころは、人に施すなかれ。(顔淵)」の姿勢のお蔭で、各クラブで形式に囚われることなく実質的な意義深い公式訪問ができたものと感謝しております。その後各クラブでの奉仕活動は確実に実施され、第6分区全体の会員数は6月時点で3名増となった。

IMは「和の心でロータリーライフを楽しみ魚沼を元気にしよう」をテーマに9月23日に分区会員総数150人のうち100人の参加で実施された。樋熊紀雄先生の講話「健康でロータリーライフを楽しむ」と十日町出身の真打桂歌助師匠の落語の後、懇親会は各クラブの役職毎にテーブルに座って意見交換をしながら、和やかに進められた。前日のIM親善ゴルフ大会でホールインワンが出、(この顛末と参加者の記念写真が「ロータリーの友」6月号に本人の寄稿で掲載)これは大ヒットで、懇親会をおおいに盛り上げ、予算をオーバーする結果となったが、大変お目出度いことであった。分区会員の親睦交流は深まったが、全員での奉仕活動と地区を元気にする活動の上積みは今後の課題となった。



「この一年多くの知己を得て」

第7分区ガバナー補佐
真保 俊(頸北 RC)

終わってしまえばそれまでの事ですが、2012～2013年度は何時になく長く感じた一年間でした。複数回の分区内クラブ訪問、ガバナー公式訪問同行、IMの開催等ルーチンワークをこなすだけで特別なことは何も出来ませんでした。鈴木年度は第7分区内では新世代奉仕関連の活動が特徴的でした。2012年10月糸魚川中央RCがホストで、RYLA研修会が糸魚川地区で、2013年3月には、高田ローターアクトクラブがホスト、高田RCの指導のもと、ローターアクト地区大会が高田で開催されました。また高田東RCが、夏期と一年、双方の青少年交換プログラムに参加され大童でした。私はこの一年、クラブ訪問の都度各クラブで温かく迎えていただき、多数の会員の皆様と親しく言葉を交わすことが出来た事、そして新世代のイベントに参加し、若人と時間を共有できたことは望外の喜びでした。何はともあれ、大過なくガバナー補佐の責務を終わることが出来たのも、ガバナー事務所の皆様のご指導と、分区内会員の皆様の温かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。一年間有難うございました。





活動を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2012-13 年度 クラブ奉仕委員長
青木 章(長岡 RC)

田中作次RIテーマ「奉仕を通じて平和を」を受ける形で鈴木重壺ガバナーが地区モットーとして掲げられた「恕を以って和を為す」を基本に置いて取り組みました。

まずは地区目標としたRI戦略計画参つの優先項目の実現への取り組みでした。

1つ目のクラブサポートに付いてはガバナー公式訪問や地区ホームページを通じてクラブの生の声をお聞きしサポートすることに努めました。

2つ目の人道的奉仕の重点化とその支援に対しては、ロータリー地域協働ネットワーク・社会奉仕委員会と連携し、犯罪被害者支援団体・いのちの電話・北朝鮮拉致被害者支援団体へ積極的に支援をさせて頂きました。

3つ目の公共イメージ向上の手段としては県内のマスコミに対してロータリーの取り組みとうとする活動の予告と取材の依頼に力を入れ、地区協議会・地区大会・各委員会での取り組みなど、多岐に亘って記事として報道して頂く事が出来、地域とロータリーの相関関係を広く広報知らしめる結果となりました。

また、緊急課題であります会員増強は残念ながら全クラブ5%の目標は達成できませんでしたが13名の純増となり、かろうじて会員減少の傾向に歯止めをかける事が出来ました。

広報委員会では積極的にホームページを主体とした広報活動を進め、RI本部からの情報をタイムリーに発信することに努めロータリー月信7月号には地区大会での講演内容(講師:涌井史郎氏)が評価され、その全文が掲載されたことで地区のイメージアップに大いに貢献する事が出来たと思います。

しかし、いまだホームページを持たないクラブがあることも事実であり今後速やかな広報システムの改善が必要であることを強く感じました。

開催地が遠いことから心配しておりましたオンツースポンスボンに付きましては、田中作次氏が30年ぶりに日本から、しかも本県栃尾のご出身とあって地元栃尾RCから多くの参加を含め50人を超す参加者となりました。しかもラッキーなことに地区主催の晩餐会には極めてご多忙の中、田中会長自らのご参加で花を添えて頂き記念すべき素晴らしい大会となりました。

最後に、ガバナーの強力なご支援とガバナー事務局・委員会メンバーの積極かつ果敢な取り組みと各クラブのご協力によって所期の目的を達成できました事に心から感謝申し上げます。



ロータリアンの責務「職業奉仕」

国際ロータリー第 2560 地区
2012-13 年度 職業奉仕委員長
田中 哲夫(長岡東 RC)

今 世界各国がいろいろな難題に直面しております。国内でも同様に政治、経済、教育等大変な問題を抱えております。

私たちロータリアン個人が奮起奮闘してもどうにもならないことですが、鈴木ガバナーの基本姿勢「恕を以って和を為す」と RI の「奉仕を通じて平和を」の目標を地区、日本中、世界中のロータリアンが奉仕活動の基に、人から人へと伝えられれば、自ずと解決の道が見えてくるのではないのでしょうか。

ハーバード・J・ティラー氏が発案された「四つのテスト」を我々の日々の言行と照らし合わせ、奉仕活動を実践しようではありませんか。クラブ会長セミナーPETS や地区協議会、地区大会で活動計画の趣旨をご説明し、ご理解を戴きました。また地区協議会でもお願いしました各クラブでの職業奉仕の勉強会を今後とも継続されます様お願いいたします。

我々ロータリアンは、「四つのテスト」と「ロータリアンの職業宣言」を実践することが責務と思います。

4 つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか (嘘偽りがいないか)
- 2) みんなに公平か (すべての取引先に対して公平かどうか)
- 3) 好意と友情を深める (信用を高めると同時により良い人間関係を築き上げ取引先を増すかどうか)
- 4) みんなのためになるか (売り手・買い手すべての取引先が適正な利潤を得るかどうか)

ロータリアンの職業宣言

- 1) 職業は奉仕の一つの機会であると考えること。
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳基準に対し、名実とともに忠実であること。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、公正であること。
- 5) 社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め、敬意を表すること
- 6) 自己の職業上の才能を捧げて、青少年に機会を開き、他者の特別なニーズに答え、地域社会の生活の質を高めること。
- 7) 広告に際しては、また自己の事業または専門職務について人々に伝える際には、正直を貫くこと。
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないこと



2012～2013年度地区社会奉仕委員会活動

国際ロータリー第 2560 地区
2012-13 年度 社会奉仕委員長
五十嵐 繁(白根 RC)

2011年8月27日(土)「鈴木年度ガバナースタッフと地区委員長懇談会」に出席すべく「長岡グランドホテル」に出向いてゆきました。白根RC入会して13年、地区の仕事をしたこともなければ、顔を出したことも一度もない。委員長としての仕事が務まるのか、心細さと不安で大変緊張したことが、いまでも思い出されます。

2002～2003年度白根RCから佐野孝先生が、ガバナーをされました。鈴木ガバナーは、その年度、地区役員として大いに活躍されるとともに、佐野先生の奉仕の思想、哲学に共鳴されたと伺っております。佐野先生は、同郷の恩師であられる平澤興〔京都大学総長までされる〕先生が唱えられた「恕」の心を、よく我々白根ロータリアンに説いておられました。鈴木ガバナーの地区テーマ「恕を以って和を為す」は、その流れを汲むものと思います。そのような関係から白根より1名委員長を引き受けるよう要請があり、私に決まってしまうしました。残念ながら、年の瀬、押し迫る2011年12月22日、佐野先生は、不慮の事故で突然他界されました。「君、地区の仕事をやってくれないか」の一言が、いまも耳に残るとともに、そのときは大きな後ろ盾を失った思いでいっぱいでした。

当年度地区社会奉仕委員会は、鈴木ガバナー指導のもと、三つの事業を推進しました。

1) 北朝鮮拉致被害者への側面支援を継続します。

拉致バッチの購入で側面支援

2) 森林の保全と育成に協力します。

3) ロータリー地域協働ネットワークセンターとの協働

以上三項目の事業計画を発表し、地区協議会において、57クラブの社会奉仕委員長に説明させていただきました。特に(1)拉致問題は、同じ新潟県人が拉致犯罪にあっている事件であり、政治問題としてではなく、人道的問題として、見過ごすわけにはゆかないとゆうガバナーの強い思いでした。地区社会奉仕委員会は、第2560地区ロータリアンが結束して拉致バッチを購入し、側面から支援しましょうと呼びかけました。10月社会奉仕セミナーを開催し、ブルーリボン章購入申込書を配布させていただきました結果、45クラブ合計1113個の申し込みを得ることができました。御賛同いただきありがとうございます。また、第2770地区浦和北東ロータリークラブより、蓮池薫さんの卓話に全員バッチを付けて出席したいと、150個の申し込みもありました。予想外の成果が得られたものと思っております。

2)、3)事業計画も鈴木ガバナーの企画により、「山古志」において、5月25日(土)植樹祭開催、5月26日(日)防・減災セミナーを開催しました。全ての事業計画を実行することができたこととなります。これもひとえに鈴木ガバナーの御指導、海津正男、渡辺嘉子委員の協力あつてのことと感謝申し上げます。ありがとうございます。



1年を振り返って

国際ロータリー第2560地区
2012-13年度 国際奉仕委員長
吉井 雅栄（長岡東RC）

年度当初には、国際奉仕フォーラムを開催し、各クラブの本年度国際奉仕委員長の方々にご参集頂き、各クラブにおいて国際交流の機会を増やしたり、海外クラブとの友好交流を図って頂きたく、国際奉仕活動についての理解を深めて頂きました。

私も、自らが所属する長岡東RCなどにお声掛けさせて頂き、有志だけでも友好関係を築くため海外クラブへ例会訪問しようと即決頂き、台湾台北の長安RCへの例会訪問ツアーに同行してまいりました。私自身にとっても非常に貴重で有意義な経験となりました。

交流の大小に関わらず、海外交流や地元の留学生・研修生・海外赴任の方々との交流は、国際奉仕実践の第一歩でもあり、国際交流、友好の絆を自身で実感できる素晴らしいプログラムの一つです。

また、秋には、地元留学生との交流イベント『長岡ウォークラリー』を開催しました。

当地区新潟県で学ぶ留学生は1000名近くおり、長岡だけでも300名近くいます。この留学生と一緒に長岡の名所を巡りながら、長岡の歴史に触れ、仲間と懇親を深め、改めて長岡を第二のふるさとと感じてもらい、そして将来本地区のサポーターとなってもらうべく、国際交流の場を作りました。

今回の試みは、長岡東RACの10周年記念事業の一つとして、地区RAC・長岡IACの協力の下で、長岡東RACが企画・実行致しました。その企画力・実行力、そしてみんなのチームワークに感動致しました。毎年このような国際交流イベントが継続されることを願います。

そして、委員長として最後のミッションである、青少年を引率しての広島でのRI世界平和フォーラムに2日間参加し、京都に立ち寄って無事帰ってまいりました。

世界平和フォーラムは、田中作次RI会長の呼びかけの下、52ヶ国2500名が参加し、平和をキーワードに青少年が中心となって、各セッションでのディスカッション、2日目はディスカッション報告と自由討論会、RI会長、会長エレクトの挨拶など盛りだくさんのプログラムとなっており、非常に有意義な国際会議でした。

また、当地区からは、IACの長岡高専、新発田中央高校、交換留学生数名を含めて青少年25名と、ロータリアン10数名で参加して参りましたが、世界の多数の国々の方々、大勢のロータリアンの中で、当地区IACの長岡高専の姉崎くんの堂々たる発表、同じ長岡高専の荒牧さんの意見表明も見事でした。

木曜日の夜行バスで出発し12時間かけて広島入りし、厳島神社でお参りした後、原爆平和ドームでボランティアの方の説明を聞いた後、2日間の世界平和フォーラムに参加し、帰りは京都で半日観光を行って、ほとんど寝ずに、引率、バスガイドを務めて、日曜日の夜に元気(?)に楽しく帰って参りました。

鈴木ガバナー・ガバナー事務局の方々のご指導の下、1年間何とか任務を果たすことができました。ありがとうございます。

また、鈴木ガバナー、山崎ガバナーエレクト、新世代奉仕西村委員長、青少年倉茂委員長などを始めとして、ロータリーを愛し、特に新世代の若者を愛するたくさんの皆様と出会うことができ、ご指導を受け、そして楽しく貴重なお話を聞き、語り合うことができたことは、私の貴重な財産となりました。皆様本当にありがとうございました。





一年を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2012-13 年度 新世代奉仕委員長
西村 好弘(中条 RC)

昨年5月20日の地区協議会で基本方針を5項目発表、以下にてその実施結果を簡単に報告致します。

インターアクト委員会

7月15日～16日東京学館新潟高校にて開催、ロータリアン生徒合計140名。12月献血キャンペーン、3月台湾清傳高校へ交流事業で訪問(IAC37名)。4月同校を東京学館にて受け入れ(清傳高生16名)。



RI3490・2560・2840地区インターアクト交流会
「熱烈歓迎、中華民国三重中央扶輪・清傳高級商業学校インターアクト」

ローターアクト委員会

アクトの日(9/9)長岡赤十字病院にて車椅子清掃(参加者35名)。10月13日国際交流事業「長岡ウォークラリー」参加者80名、同じく11月23日米山奨学生との交流事業(新潟市内)。2月9日～10日全国研修会(熊本)に参加(22名)。3月9日地区大会(上越市)、参加者123名。6月8日～9日地区協議会(三条市)。



アクトの日 長岡赤十字病院にて

長岡ウォークラリー アオーレ長岡にて

ライラ委員会

10月6日～8日糸魚川中央RCをホストクラブとして開催、研修生78名、ロータリアン81名、合計159名。5月16日～19日、世界平和フォーラムにロータリアン8名、IAC青少年交換等の新世代の若者26名参加、「平和」とは何か、今ロータリアンの出来る事とは等について学ぶ。



ライラ研修 化石探し 糸魚川にて



「世界平和へ繋げ青少年の友情の輪」

国際ロータリー第 2560 地区
2012-13 年度 青少年交換委員長
倉茂 章(頸北 RC)

鈴木年度では、青少年奉仕活動が大きく前進した 1 年であったと感じております。それは、鈴木ガバナーが推し進めた各委員会の横の連携が取れたことに大きな要因があったと思います。

国際奉仕、青少年交換、インターアクト、ロータリーアクトが共同して開催した長岡ウォークラリーや、インターアクト、青少年交換で参加したスキー交流会、広島世界平和フォーラムなど委員会の垣根を越えて、青少年が交流できたことは大変意義深いことでした。特に、長岡高専、沖縄高専の両インターアクトと青少年交換学生が参加した妙高スキー交流会では、実に、8カ国の青少年が一堂に会し親睦を深めました。写真右側で手を取り合う 3 人の女の子の国籍は左から日本、イラン、アメリカです。国際社会ではアメリカはイランに制裁を加えている関係です。しかし、日本の妙高において、イランとアメリカの青少年が友情を育みました。世界規模で見れば、小さな事かもしれませんが、こうした個々の人間同士の友情が世界平和の確固たる礎になると信じます。

最後に、この 1 年を締め括るにあたり、当地区の青少年奉仕活動がさらに発展し続け、各国へ青少年の友情の輪が広がり、ロータリーの悲願である世界平和に繋がることを祈念いたします。また、会員の皆様方から多大なるご支援とご協力を賜りました事に、この場をお借りして感謝を申し上げます。





1年を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2012-13 年度 米山奨学委員長
大橋 義弘 (新潟北RC)

鈴木年度の受入奨学生は 21 名 (7 か国、8 大学) でした。

米山奨学委員会では、奨学生の選考会、カウンセラー研修会、米山奨学生オリエンテーション、委員長セミナー (2 回)、親睦交流会、学友会、大学担当者向け米山制度説明会、米山奨学生終了式・歓送会等の行事を実施しました。

いろいろな思い出があります。

今年度の親睦交流会は、会津若松方面に日帰りで行きました。奨学生とカウンセラーは同じバスに乗りましたが、行きは 2 度目の対面という事もあってまだお互いが良く理解されていないため、ぎこちなさが見られました。大内宿、そして鶴ヶ城を見学して、帰る頃にはお互いが親子のような感じで対応されている姿が見受けられました。親睦会開催の意義があったと、印象に残っています。

奨学生達は巣立った後、ロータリアンへの感謝の気持ちを持って、必ず日本との国際親善・交流に貢献してくれるものと信じています。

最後になりますが、寄付金は当初の目標額にわずか届きませんでした。 (一人当たりの平均寄付目標 18,000 円⇒17,838 円) 全国 34 地区中 8 位という結果を出すことができました。

寄付増進に努めていただきました各クラブ会長及び米山奨学委員長にはもちろんのこと、ご寄付をいただきましたロータリアンの皆様に感謝申し上げます。

これからも皆様のご協力をお願い申し上げます。





一年を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2012-13 年度 ロータリー財団委員長
渡辺 敏彦(新潟南 RC)

2012～13 年の鈴木ガバナー年度では、最重要テーマはなんといっても「未来の夢計画」＝「新しい補助金モデル」の周知徹底とその準備でありました。実施前年度にあたりましたので、委員会組織として「夢計画準備室」を設置し、特別予算も組んで頂き、その情報収集と周知・広報活動を活発に行いました。

第1ステップとして、2012 年の地区協では、RI 日本事務局財団室長の清水優季氏を招聘し、全体会では「R 財団の補助金モデル」、分科会では「未来の夢計画 グローバル補助金について」というテーマで、それぞれご講演頂きました。

第2ステップである 2012 年 8 月の第1回 R 財団セミナーでは、対象者をクラブの R 財団委員長の他、会長並びに事務局担当者と致しました。大幅なシステム変更がある為、事務局担当者を加えたのは大変好評だったと思います。

第3ステップは、地区補助金管理セミナーとしても開催した、2013 年 2 月の第2回財団セミナーであります。地区に補助金管理の責任と義務がかかりますので、新システムの移行にとっては重要なポイントになります。もちろんこのイベントに関するミーティングは、毎月1回位行われまして、委員会活動としては大変ハードな一年となりました。R 財団の野沢副委員長そして委員の方々には、大変お世話になりました。おかげで充実した活動をさせて頂きました。皆様方へただ感謝！感謝！





ロータリー地域協働ネットワークセンター活動を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区

2012-13 年度 R 地域協働ネットワークセンター長

平井 邦彦

ロータリーのみならず地域の発展の為にもロータリー組織をよりフレキシブルかつタイムリーに発揮することが大切ということから鈴木年度に誕生したのが「ロータリー地域協働ネットワークセンター」です。初年度としては、とりわけ地域活性の基となる防災・青少年育成・地域コミュニケーションの醸成・ロータリー家族へのケアを根底に、支援活動等に特化した活動を目指しました。

以下は初年度に取り組んだ事業です。

1、ロータリーの理念に沿った活動が可能な団体との連携と支援

日本ボーイスカウト新潟連盟・にいがた被害者支援センター・新潟いのちの電話・自衛隊隊友会・中越防災安全推進機構・新潟県災害ボランティアセンター・新潟市社会福祉協議会・にいがた NPO 協会・にいがた緑の百年物語緑化推進協議会 ほか

2、他団体との協力体制の確保

来年本県で開催される第 65 回全国植樹祭の成功を期して県内の緑化推進団体と協働して中越震災被災地の山古志地域の里山で記念プレ植樹祭を共催

開催日： 5 月 25 日（土） 場所： 山古志フィールドミュージアム予定地

3、災害支援組織の運用

緊急連絡網の周知と各クラブ単位で災害時を想定して支援物資リストへの登録

4、災害に対する認識…ロータリー防減災セミナーの開催

災害対応への危機管理意識の啓発と、円滑な地域協働を考える機会としてのセミナー

開催日： 5 月 26 日（日） 場所： 通称ロータリーハウス（山古志）

【実施内容】

ミニトークセッション「災害発生、その時どう動いたか？」

- ① 災害の初期対応、資機材等の支援について
- ② 災害ボランティアセンターを中心とした支援活動について
- ③ 救援物資支援、復興支援について
- ④ 支援金（上記活動を行うための支援金の重要性）、避難者受け入れについて

ワークショップ「その時ロータリーは」

グループディスカッションを行い、これから地域で出来ることについて議論

最後に、センター長という重責を頂き乍ら体調不良に陥り皆様に大変ご迷惑をおかけ致しましたこと、深くお詫び申し上げます。

この組織は地域とロータリーをビジュアルに結び付け地域の発展に大きく貢献し得る、前例を見ない画期的なものです。

どうか、より一層のご理解とご支援によってロータリーの目指す奉仕の理想の実現とロータリーの立ち位置の向上を目指して頂きたいと願いたします。

ロータリークラブ「山の会」鋸山登山報告書

国際ロータリー第 2560 地区
「山の会」幹事 鹿嶋 和子

第 2560 地区 RC「山の会」行事も今年度で 22 回目の登山と成りました。

5 月 25 日の長岡市山古志地区は、谷合に残雪が残り、春の息吹が感じられ、田植え作業が盛んな、暖かい春陽さす穏やかな日でした。

全国植樹祭プレ植樹祭にも「山の会」メンバー 10 名が参加させて頂き、ブナの苗木を植樹して貴重な体験を致しました。またロータリーハウスの見学と震災後の現場を鈴木ガバナーのご配慮でご案内して頂き、厚く感謝申し上げます。

参加メンバーは、あまやち会館(山古志 種芋原)に午後 5 時集合。県内各地区からロータリアンが集い、親睦会と登山を楽しむ機会を頂戴し、更には鈴木ガバナーより過分なるご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。「純米吟醸 山古志」の寄贈もあり、地元の美酒に皆さん舌つづみです。

翌 26 日は、早朝の棚田写真撮影に出掛けた方もありました。朝食後に、あまやち会館のバスで半蔵金集落まで送迎をお願いしての登山です。愈々、半蔵金コース登山口までの登りです。棚田の脇を急こう配の農道が山の斜面を上へ上へと延びています。午前 9 時 30 分、ようやく半蔵金登山口に到着。ブナの枯葉を踏みしめながら、切り開かれた道を緩い勾配を徐々に登り、途中、足元にはゼンマイ、カタクリの花、水芭蕉、イワカガミなど山野草が咲き、ぶな林と残雪が爽やかな風をお送り出してくれます。守門岳、浅草岳と棚田の景色を観ながら、午前 11 時過ぎには鋸山山頂に到着。山頂からは、長岡市中心部が春霞みの中に浮かんで観えて広々とした平野を堪能。17 名が一緒の場所でバーベキュー昼食が出来る様に、虫対策に蚊帳テントの設置も協力して頂きました。期待の昼食は守門岳、浅草岳、棚田の景観を見下ろしての絶景ポイントで、山古志牛の焼肉あり、山菜あり、笹団子にトマトやアスパラ、筍と豊富ランチに皆さんご満悦。残雪の冷蔵庫が大活躍、ビールで乾杯。お昼寝付き、ゆったり登山でした。

午後 2 時過ぎには、半蔵金集落に到着し、あまやち会館までバスにて到着後、集合記念撮影。さっぱりと一日の汗を流して、山古志の棚田と雪の守門岳に別れを告げて帰路に着きました。連続「山の会」にご参加頂き、RC 活動を盛り上げて下さいます会員の皆様に「また、次年度も宜しく」とお願いして、楽しかった第 2560 地区「山の会」鋸山登山の報告とさせていただきます。

2013 年 5 月 28 日



国際ロータリー第 2560 地区 防減災セミナー 第二部 報告書

ロータリー地域協働ネットワークセンター

目的

新潟県内のロータリークラブの会員に、災害時どのようなことが起こり得るのかをイメージしてもらいと共に、災害が発生した際にどのような支援活動が出来るのか、また、災害時に支援活動を円滑に行うためには、平時からどのような備えを取っておくべきかを考えて頂く機会とする。

また、同じ地域のロータリー会員と一緒に災害時の対応について考える機会を持つ共に、ファシリテーターとして各地域で災害支援活動にあたる社協や NPO のメンバーに関わってもらうことにより、各地域の災害支援ネットワークづくりのきっかけとする。

場所 ; ロータリーハウス (長岡市山古志)

日時 ; 5月26日(日) 13:30~16:30 (第二部)

参加者 ; ロータリークラブ会員 約45名

ファシリテーター ;

(社福) 新潟市社会福祉協議会 井上基之

(社福) 新潟市社会福祉協議会 田巻美和子

(特活) 新潟 NPO 協会 富澤佳恵

(特活) にいがた災害ボランティアネットワーク 李仁鉄

(特活) 柏崎まちづくりネットあいさ 水戸部智

(公社) 中越防災安全推進機構 河内

プログラム

1. スタッフ紹介
2. ミニトークセッション「災害発生、その時どう動いたか？」
3. ワークショップ I 「その時ロータリーは (テーマ編)」
4. ワークショップ II 「その時ロータリーは (地域編)」
5. ふり返り、まとめ

実施内容

ミニトークセッション「災害発生、その時どう動いたか？」

東日本大震災などの過去の災害において、県内の防災関係組織がどのように動いたのか、またその時の課題は何だったのかを以下のテーマに沿って関係者から語ってもらいと共に、ロータリークラブ会員の方々と意見交換を実施した。発表ならびに意見交換の内容は以下の通り。(コーディネーター ; 新潟市社会福祉協議会 井上基之)

① 災害の初期対応、資機材等の支援について

NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク 李仁鉄

災害時の活動内容

- ・ 自分たちは救急外来。ただ人がここにも力発揮されない。ノウハウや物資を提供する。
- ・ 効率化・在庫を置かない情勢の中で資機材の現地調達が難しい。
- ・ 想いをチカラに変える支援。
- ・ ボランティア用の資機材の倉庫を企業が提供。10トンの資機材を被災地に搬入。

課題など

- ・ 人はいくらいてもよい。マネジメントの能力、人の力を活用するためのチカラ。→企業運営にも通じる？

- ・ 自分たちはまず現場に行く。資金は考えずに動く。平常時から「何かあった時に補てんしてくれる仕組み」などがあるとよい。
- ・ 資機材の維持費、収納場所などがあるとありがたい資源の一つ。

② 災害ボランティアセンターを中心とした支援活動について
(社福) 新潟市社会福祉協議会 田巻美和子

災害時の活動内容

- ・ 平成 20 年の東日本大震災。災害ボランティアセンターの様子。拠点・場所の不足。
- ・ 福祉避難所。簡易銭湯（風呂）。相談窓口。
- ・ 避難所 → 仮設住宅のコミュニティ形成支援。

課題など

- ・ 地元でボランティアセンターを立ち上げる（テントを張る、資機材を置く、遠方からのボランティアのために駐車場が必要などなど）場所は必要になってくる。

③ 救援物資支援、復興支援について
(公社) 中越防災安全推進機構 河内毅

災害時の活動内容

- ・ 東日本大震災 東北自動車道のマヒ→新潟経由でバックアップセンターからの支援
- ・ 資材を被災地に送る。被災地を支援。
- ・ 現地で必要な物資がわからない。毛布→ゴミになってしまう。
- ・ 現地（支援団体）とのネットワークづくり。
- ・ 地域の復興・地域づくり。→ 役割づくり。被災者が技術を教える。やりたいことを応援・支援。

課題など

- ・ トラックに積み込む物資のサイクルが計画通りにならないこともある。
- ・ 自分たちのネットワークには限りがある。さまざまな人が持っているネットワークの相乗効果を発揮するような仕組みづくりが必要。想いをつなげる仕組み。
- ・ ボランティアは初期がピーク。息の長い形で復興に向けた支援活動の継続が必要。ビジネスの観点で地域活性化のモデルを考える、地域経営の視点も必要。

④ 支援金（上記活動を行うための支援金の重要性）、避難者受け入れについて
NPO 法人にいがた NPO 協会 富澤佳恵

災害時の活動

- ・ 支援活動のお金（財源）の必要性。
- ・ 義捐金（直接支援）と支援金（間接支援）
- ・ 空家の情報提供による避難者転居のマッチング。交流施設などの居場所づくり。
- ・ 失ったものを補うだけではなく新しい価値を創造。

課題など

- ・ 災害が発生すると情報が氾濫・錯綜する。信憑性も怪しい。
- ・ 信頼し合っている、顔の見える関係の中で情報を共有する必要がある。平時からの関係性が重要。

発表を受けての意見交換

- ・ ボランティアを経験した感想として、できること（大工・語学など）とニーズのマッチングが不十分？
- ・ 必要とするボランティアの情報発信の必要性を感じる。ボランティアに求めることは？（ロータリークラブ会員より）
- ・ → ボランティア・物資が押し寄せることによる「二次災害」の事例もあり。これまでのボランティアセンターは「いる人をどう使うか」という視点があったことは否めない。（先読みができない・情報発信力が弱い。）これからは情報発信力を高め、必要なボランティア・物資を集める必要がある。人はこれから。

- ・ 社会福祉協議会は「福祉のボランティア」が中心。災害時に必要となるボランティアとは異なるところがあり、さまざまなつながりを活かしたボランティアの集約が必要。
- ・ ロータリークラブには各業界のトップレベル・代表の方々が集まっており、平時からつながるチャンネルを合わせておく必要性を感じる。有事に迅速かつタイムリーな活動を行うことが可能となる。(ロータリークラブ会員より)
- ・ ライフライン・インフラの仕事をしている。ライフライン復旧は意外と早い段階で終わる。その次のフェーズで必要になる支援者につながっていくとよいのではないか。(ロータリークラブ会員より)



ワークショップ「その時ロータリーは」

ワークショップ I のテーマ編では、トークセッションを踏まえてロータリアンにテーマ別に分かれて頂き、それぞれの企業の業種や特徴や立場を踏まえて、現状や課題、それにどのような支援活動が出来るかについて意見を述べた。

また、ワークショップ II の地域編では、近隣地域のロータリークラブごとにグループディスカッションを行い、これから地域で出来ることについて議論をした。

以下に当日のワークショップで出た意見についてまとめる。なお、ワークショップ I、II で出た内容がグループによって重複するところがあることから、意見については敢えてワークショップ毎に分けずに集約してまとめた。

現状・課題

お金・物資

- 何をするにもお金が必要だと思う。
- 物資・お金等を支援しようとしても現地とのミスマッチや情報不足のため、上手く支援が出来ないことがある。(他のロータリーとの連携で上手くつなげた実績もある。)
- 支援金については支援団体にどのようにお金が活用されたかをしっかり報告してほしい。

災害ボランティアセンター・人材支援

- 何をしてほしいかがわかれば何でもできる。(どういう人？ どういうもの？ 数は？)

- 安全管理や現場管理についての人材支援は可能。
- 薬剤師が数百名いる。
- 建築業界で家屋の応急危険度判定に対応できる。

広域避難

- 不動産協会へ依頼で賃貸物件を斡旋（営利の場合、期間等に不安があり）
- 地域住民と避難者との軋轢
- 避難者がわがままに⇒どこまで対応すべきか？
- 地域の人と避難者の交流の場

情報

- 緊急時に情報が錯綜
- 行政からの正確な情報が無い
- 災害時は携帯がつながらず、情報不足。

ネットワーク

- 災害時には協働ネットワークセンターから県内全域の RC に情報発信が出来る。
- パラグライダークラブと市が災害協定を結んでいる。
- 障害者団体などに寄付や支援をしている
- 産官民が日常からつながっていないと…

その他

- 平時からの備えに不安
- 一個人、企業人、ロータリアン、どの立場でどの順番で何をするか交通整理が必要

今後の対応案

お金

- 今日のようなセミナーで会員に支援金の必要性を伝える必要がある（お金を出す側の想いを組むことも大切）。⇒卓話の活用
- 災害時のための基金を作ればある程度寄付を集めることも可能
- 障害なく初動がとれるような基金があると良い。

物資

- 今年行った支援物資リストを上手く活用できるのでは、ただ、使い勝手が悪いので改善の余地あり。

⇒支援物資リストを使ったシミュレーションするとよいかも？

災害ボランティアセンター

- 災害ボランティアセンターとつながることで物や人を提供できる。

災害弱者

- 日頃からの地域の見守りのしくみ⇒有事に対応

情報

- SNS やインターネットを使ったタイムリーな情報発信
- 行政や社協、NPO などが持っている情報を整理し、発信する。

ネットワーク

- 各ロータリーで隣のロータリーと連携をしておく。出来ることから
- 平時から、（災害現場を知っている）団体とつながり、活用する。

- 減災は行政が考えるのではなく、企業・NPO・市民が考える⇒ロータリーが生きる
地域協働ネットワークセンター

- 日々のネットワークづくりが大切
- 価値創造の部分で市民の声、行政の考えを集める。
- どういうチャンネルを使えるかがカギ。

機能や活動を充実させていく。

その他

- RC で勉強の場を作る。
- NPO 等とつながる場づくり
- 物資の保管場所や基金などは建設業協会としても検討
- ロータリーの例会の卓話の時間に災害の話をしてもらったら良いのでは。

⇒アピールの仕方によっては金より物の方が出しやすいかも

まとめ

- 災害時に円滑に支援活動ができるようにするために、日ごろからの関係づくり・ネットワーク構築が大切である。
- 各地域においてロータリークラブと地域の NPO や社協などが互いの存在や活動を知り、つながっておくことが大切。⇒卓話等の活用
- 平時ならびに災害時において各 RC や地域の災害 VC 等の情報のハブとなる地域協働ネットワークセンターの役割が重要である。⇒役割や動きについての事前の検討・訓練



参加者ふり返り

ネットワーク・人とのつながり

- 地域協働ネットワークセンターの意義・重要性が理解出来た。ネットワークセンターへの関わりを深めていこうと思います。(長岡・笠原)
- RC 地域協力ネットワークセンターの果たすべき役割の認識と課題も認識。(小千谷・日比野)
- 地域協働ネットワークセンターの目的と各 RC、ロータリアンの位置づけの再確認が大切(西村好弘)
- ネットワークセンターが情報集積し、発信する基点となるように。
- NPO とどう連携するか、できるか、これからはもっと話合う機会を作りたい。(小千谷・日比野)
- 顔が見えるネットワークの重要性を再確認した。(雪国魚沼・水野)
- 災害は平時の対応が肝要と痛感。備えの中に組織的、人的ネットワークの構築が必要と思った。(長岡・加藤)
- 協働ネットワークは行政との連携が重要→練習・訓練が必要→このため、新潟県防災訓練の日、協働ネットワーク訓練の日、設立してはどうか。(佐々木)
- 災害時のネットワークの必要性が理解出来て大変有意義でした。
- 平時のコミュニケーションの大切さを改めて実感いたしました。良い気付きを頂き、ありがとうございました。(長岡東・村上)
- 平時に人と人とのつながりを作ることの大切さを痛感した。

支援金

- 支援金のお手伝いはしたいと思います。

平時からの備え

- 日々の備え(西原篤?)
- 災害発生前にやるべきことも考えたい(山崎)
- 災害の無い時にこそ、災害を考えよう。

その他・感想

- あらためて防災に関心を持ちました。地域の皆さんのためになるよう努力しなければ。ロータリークラブは素晴らしい。
- 今日の防災セミナーに参加して皆さんの熱気と真剣さに大変良かったと思います。またよろしく願います。
- 必要な時に必要な場所に必要な物資や人材等を迅速に配置することを目標とする。
- 今日、何のために来たのかようやくわかった!!(南区・飯島)
- クラブでやれることを考えたい(小泉)
- 私の仕事を通してできる支援を考える機会になりました。(小林)
- 今日のような時間は大切だと思う。これからお互いに協力して活動していければと思う。
- 協力への不安が少なくなり、出来ることは力を発揮したい。(長岡・佐々木)
- 山古志は山深いとても良いところだ。セミナー1日有意義でした。(五十嵐繁)

ロータリー財団 米山記念奨学会 分区分別一覧

分区分	クラブ名	ロータリー財団寄付					ロータリー米山記念奨学会寄付					
		会員数 (2/07/01)	2012年7月1日～2013年6月30日			年次寄付総計 (\$)	会員数 (3/01/01)	普通寄付金 単価(年額)	2012年7月1日～2013年6月30日			一人当たり 平均寄付額
			APF目標額(\$)	達成率%	一人当たり(\$)				普通寄付金	特別寄付金	合計	
R12560地区	第1分区分	333	34,129	144.49%	148.50	50,212.12	341	☆	1,856,000	3,946,500	5,802,500	16,680
	第2分区分	393	40,500	157.76%	163.54	69,750.27	419	☆	1,614,000	7,107,700	8,721,700	21,812
	第3分区分	143	14,500	79.81%	80.91	13,236.13	145	☆	578,000	1,273,972	1,851,972	9,837
	第4分区分	363	40,250	102.41%	115.45	48,045.06	361	☆	1,455,000	4,162,500	5,617,500	12,636
	第5分区分	303	31,100	131.87%	134.43	41,790.11	307	☆	1,222,000	4,944,278	6,166,278	19,783
	第6分区分	147	15,300	116.51%	121.50	19,238.16	150	☆	688,500	1,234,000	1,922,500	12,028
	第7分区分	308	32,500	108.99%	113.88	36,737.64	311	☆	1,589,500	4,611,000	6,200,500	18,796
合計	1,990	208,279	132.43%	140.28	279,009.49	2,034	☆	9,003,000	27,279,950	36,282,950	17,838	
第1分区分	新発田	80	8,100	145.96%	147.79	11,823.00	83	10,000	815,000	815,000	1,630,000	19,638
	村上	35	3,500	315.15%	315.15	11,030.26	35	4,000	140,000	526,000	666,000	19,028
	水原	25	2,500	85.71%	85.71	2,142.84	25	4,000	100,000	336,000	436,000	17,440
	中条	29	4,380	142.41%	215.09	6,237.50	30	4,000	116,000	464,000	580,000	19,333
	新発田城南	42	4,300	132.14%	135.29	5,682.00	45	4,000	174,000	318,500	492,500	10,944
	豊栄	23	1,449	126.81%	79.89	1,837.50	23	4,000	92,000	362,000	454,000	19,739
	新発田中央	48	4,800	109.25%	109.25	5,244.00	47	5,000	238,000	630,000	868,000	18,468
	中条胎内	28	2,800	125.18%	125.18	3,505.02	29	4,000	112,000	255,000	367,000	12,655
	村上岩船	23	2,300	117.83%	123.18	2,710.00	24	3,000	69,000	240,000	309,000	12,875
	新潟	81	8,000	221.90%	219.16	17,752.00	87	4,000	324,000	1,424,500	1,748,500	20,097
第2分区分	新潟東	53	5,500	207.00%	214.82	11,385.20	56	4,000	212,000	790,000	1,002,000	17,892
	新潟南	74	7,600	169.64%	174.23	12,892.67	84	4,000	296,000	1,190,000	1,486,000	17,690
	佐渡	13	1,400	92.86%	100.00	1,300.00	13	4,000	52,000	234,000	286,000	22,000
	新潟西	31	3,600	142.14%	165.06	5,117.00	33	4,000	124,000	533,000	657,000	19,909
	佐渡南	45	4,600	100.11%	102.33	4,605.00	46	4,000	184,000	645,000	829,000	18,021
	新潟北	36	3,700	171.17%	175.93	6,333.31	37	4,000	144,000	906,000	1,050,000	28,378
	新潟中央	22	2,200	113.00%	113.00	2,486.00	24	4,000	88,000	516,000	604,000	25,166
	新潟万代	38	3,900	202.03%	207.34	7,879.09	39	5,000	190,000	869,200	1,059,200	27,158
	新津	22	2,300	88.04%	92.05	2,025.00	24	4,000	92,000	232,000	324,000	13,500
	村松	9	900	44.44%	44.44	400.00	10	4,000	40,000	0	40,000	4,000
第3分区分	五泉	20	2,000	50.00%	50.00	1,000.00	21	4,000	82,000	80,000	162,000	7,714
	白根	50	5,000	123.54%	123.54	6,177.00	48	4,000	196,000	800,500	996,500	20,760
	新津中央	32	3,300	82.85%	85.44	2,734.13	32	4,000	128,000	161,472	289,472	9,046
	阿賀野川ライン	10	1,000	90.00%	90.00	900.00	10	4,000	40,000	0	40,000	4,000
	三條	54	5,600	111.25%	115.37	6,230.00	54	4,000	216,000	760,000	976,000	18,074
第4分区分	燕	24	2,860	135.98%	162.04	3,889.02	24	4,000	96,000	170,000	266,000	11,083
	加茂	37	3,800	47.37%	48.65	1,800.00	33	4,000	136,000	40,000	176,000	5,333
	三條南	46	6,900	153.62%	230.43	10,600.00	48	4,000	188,000	480,000	668,000	13,916
	分水	30	3,000	140.00%	140.00	4,200.00	30	4,000	120,000	390,000	510,000	17,000
	見附	18	2,090	94.74%	110.00	1,980.00	18	5,500	99,000	0	99,000	5,500
	吉田	35	3,500	82.40%	82.40	2,884.00	34	4,000	138,000	449,000	587,000	17,264
	三條北	69	7,100	172.42%	177.42	12,242.04	70	4,000	278,000	1,472,000	1,750,000	25,000
	巻	13	1,400	86.43%	93.08	1,210.00	12	4,000	56,000	88,500	144,500	12,041
	田上あじさい	6	600	16.67%	16.67	100.00	6	0	0	0	0	0
	三條東	31	3,400	85.59%	93.87	2,910.00	32	4,000	128,000	313,000	441,000	13,781
第5分区分	長岡	41	4,600	123.15%	138.17	5,665.00	44	4,000	170,000	820,000	990,000	22,500
	柏崎	46	4,600	115.33%	115.33	5,305.10	46	4,000	184,000	619,000	803,000	17,456
	長岡東	65	6,600	136.98%	139.08	9,040.37	65	4,000	260,000	1,419,778	1,679,778	25,842
	柏崎東	44	4,300	118.39%	115.70	5,090.64	44	4,000	176,000	393,000	569,000	12,931
	栃尾	23	2,300	100.22%	100.22	2,305.00	23	4,000	92,000	402,500	494,500	21,500
	長岡西	42	4,400	235.82%	247.05	10,376.00	43	4,000	170,000	840,000	1,010,000	23,488
	柏崎中央	42	4,300	93.21%	85.43	4,008.00	42	4,000	170,000	450,000	620,000	14,761
第6分区分	十日町	33	3,400	123.91%	127.66	4,212.86	32	4,000	130,000	480,000	610,000	19,062
	小千谷	37	3,700	198.88%	198.88	7,358.54	38	6,000	222,000	164,000	386,000	10,157
	雪国魚沼	19	2,000	105.00%	110.53	2,100.00	21	5,000	95,000	105,000	200,000	9,523
	十日町北	21	2,300	95.65%	104.76	2,200.00	22	4,000	88,000	325,000	413,000	18,772
	津南	26	2,700	83.95%	87.18	2,266.76	26	4,000	104,000	160,000	264,000	10,153
第7分区分	越後魚沼	11	1,200	91.67%	100.00	1,100.00	11	4,500	49,500	0	49,500	4,500
	高田	59	6,900	89.54%	104.71	6,178.02	60	4,000	238,000	960,500	1,198,500	19,975
	直江津	43	4,500	98.38%	102.96	4,427.28	40	8,750	367,500	410,000	777,500	19,437
	新井	32	3,300	96.97%	100.00	3,200.00	33	4,000	130,000	654,000	784,000	23,757
	糸魚川	35	3,600	146.86%	151.06	5,287.12	36	4,000	144,000	570,000	714,000	19,833
	妙高高原	5	500	0.00%	0.00	0.00	5	4,000	20,000	0	20,000	4,000
	高田東	38	3,800	142.78%	142.78	5,425.66	37	4,000	150,000	558,000	708,000	19,135
	糸魚川中央	34	3,500	131.25%	135.11	4,593.75	34	8,000	272,000	403,500	675,500	19,867
	頸北	16	1,700	177.41%	188.50	3,016.00	16	4,000	66,000	327,000	393,000	24,562
	越後春日山	46	4,700	97.68%	99.81	4,591.06	50	4,000	202,000	728,000	930,000	18,600
D2560	0	0	0.00%	0.00	18.75			0	0	0	0	
合計	1,989	210,679	132.43%	140.28	279,009.49	2,034		9,003,000	27,279,950	36,282,950	17,838	

2012-13年度 地区主要行事予定

2012年5月20日現在

年月日		行事		会場		
2012年 (H.24)	7月	1	(日)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪	
		1	(日)	ガバナー・ロータリーの友委員会・法人合同会議	グランドプリンスホテル高輪	
		2	(月)	ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪	
		8	(日)	全国青少年交換委員長会議	品川プリンスホテル	
		15・16	(日・月)	インターアクト年次大会	東京学館高等学校	
		15・16	(日・月)	日独学生交流研修	妙高自然の家	
		20	(金)	新世代奉仕委員会	まちなかキャンパス	
		21	(土)	地区新世代リスクマネジメント委員会	まちなかキャンパス	
		28	(土)	クラブ奉仕委員会セミナー	まちなかキャンパス	
		29	(日)	国際奉仕フォーラム	まちなかキャンパス	
	30	(月)	地区運営懇談会	響香(新潟)		
	会員増強および拡大月間					
	8月	11	(土)	地区諮問委員会	長岡グランドホテル	
		11	(土)	地区運営会議	アオーレ長岡	
		25	(土)	米山奨学生親睦交流会	福島県(会津)	
		25	(土)	2013-14年ロータリー財団奨学生選考会	まちなかキャンパス	
		25	(土)	第1回ロータリー財団セミナー	ホテルニューオータニ長岡	
	新世代のための月間					
	9月	2	(日)	第5分区IM(青木G補佐・長岡西RC)	長岡ベルナール(長岡市)	
		8	(土)	第2分区IM(箕輪G補佐・新潟中央RC)	ANAクラウンプラザホテル(新潟市)	
		8	(土)	第7分区IM(真保G補佐・頸北RC)	鶴の浜ニューホテル(上越市)	
		11・12	(火・水)	ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)	グランドプリンスホテル新高輪	
		13	(木)	2013-2014年度の地区研修リーダーのためのセミナー(DTLS)	グランドプリンスホテル新高輪	
		22	(土)	1年交換受入学生オリエンテーション・帰国学生(1年交換、夏季交換)報告会	まちなかキャンパス	
		22	(土)	第1分区IM(井岡G補佐・水原RC)	天朝閣(阿賀野市)	
		23	(日)	第6分区IM(星名G補佐・十日町北RC)	ラポート十日町(十日町市)	
	29	(土)	第4分区IM(杉山G補佐・巻RC)	『蜚の館』巻農業改善センター		
	職業奉仕月間・米山月間					
	10月	6~8	(土~月)	ライラ研修会	糸魚川	
		11	(木)	鈴木年度 地区大会記念ゴルフ大会	長岡カンントリークラブ	
13		(土)	第3分区IM(藤村G補佐・白根RC)	サルナート白根(新潟市)		
20		(土)	第1回米山奨学委員長セミナー	アオーレ長岡		
27		(土)	地域協働ネットワーク第2回委員会	ガバナー事務所		
28		(日)	柏崎RC60周年	柏崎産業文化会館(柏崎)		
2012年 (H.24)	11月	ロータリー財団月間				
		17	(土)	鈴木年度 RI会長代理歓迎晩餐会	長岡グランドホテル	
		18	(日)	鈴木年度 地区大会	アオーレ長岡	
		25	(日)	山崎年度1年派遣学生選考試験	まちなかキャンパス	
		27	(火)	ガバナー会議	ホテルグランパシフィック	
	28・29	(水・木)	ロータリー研究会	ホテルグランパシフィック		
	12月	家族月間				
		1	(土)	米山奨学生・学友会総会	長岡グランドホテル	
		8	(土)	地区懇談会	ホテルニューオータニ長岡	
		8	(土)	地区諮問委員会	ホテルニューオータニ長岡	
		8	(土)	山崎ガバナーエレクト渡米壮行会	ホテルニューオータニ長岡	
	23	(日)	第1回1年交換派遣学生オリエンテーション	ANAホテル		
	2013年 (H.25)	1月	ロータリー理解推進月間			
			13~19	(日~土)	2013年度国際協議会	アメリカカフォルニア州サンディエゴ
			17~20	(木~日)	2013年ロータリー財団研修 未来の夢準備セミナー	アメリカカフォルニア州サンディエゴ
19		(土)	米山奨学生 選考会	新潟チサンホテル		
2月		世界理解月間				
		2	(土)	第2回米山奨学委員長セミナー	長岡グランドホテル	
		9	(土)	地区運営会議	中条グランドホテル	
		9	(土)	地区諮問委員会(+予算管理委員会)	中条グランドホテル	
		16	(土)	第2回ロータリー財団セミナー	ホテルニューオータニ長岡	
24		(日)	ロータリー財団奨学生オリエンテーション	万代シルバーホテル		
3月		識字率向上月間				
		2	(土)	米山奨学生修了式・歓送会	ANAクラウンプラザホテル新潟	
30		(土)	米山カウンセラー研修会	万代シルバーホテル		
4月		ロータリー雑誌月間				
		1	(月)	地区懇談会	長岡グランドホテル	
	6	(土)	新潟中央RC20周年	ANAクラウンプラザホテル新潟		
	7	(日)	長岡西RC30周年	長岡ベルナール		
	13	(土)	ロータリー財団奨学生募集説明会・定例ミーティング	未定		
	14	(土)	雪国魚沼RC50周年	ホテル坂戸城		
	14	(日)	第2回1年交換派遣学生オリエンテーション	まちなかキャンパス		
	21~26	(日~金)	規定審議会	アメリカイリノイ州シカゴ		
	26	(金)	台湾インターアクト東京学館受け入れ式典・パーティー	東京学館高等学校		
	5月	11	(土)	白根RC50周年	サルナート(白根)	
17~18		(金~土)	2013ロータリー世界平和フォーラム広島	ANAクラウンプラザホテル広島		
18、19		(土、日)	第18回 全国青少年交換研究会	広島		
18		(土)	米山奨学生オリエンテーション	ホテルオークラ新潟		
6月	ロータリー親睦活動月間					
	2	(日)	新潟万代RC20周年	ホテルオークラ新潟		
	8	(土)	見附RC30周年	ホテルつるや		
	16	(日)	第3回1年交換派遣学生オリエンテーション	ANAホテル		
	23~26	(日~水)	RI国際大会	ボルトガル・リスボン		
	29	(土)	地区諮問委員会	長岡グランドホテル		
29	(土)	鈴木年度感謝の集い	長岡グランドホテル			

第2560地区 2012-13年度 6月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	6月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	89.70	332	347	35	15
新発田	4	98.21	80	85	0	5
村上	4	91.91	35	34	6	-1
水原	4	79.34	25	26	1	1
中条	4	91.13	29	31	3	2
新発田城南	4	92.73	42	42	6	0
豊栄	4	84.25	23	26	4	3
新発田中央	4	94.50	48	50	5	2
中条胎内	4	86.70	28	29	5	1
村上岩船	4	88.54	22	24	5	2
第2分区(9クラブ)	／	88.48	394	405	17	11
新潟	4	89.40	81	83	0	2
新潟東	4	91.56	53	53	4	0
新潟南	4	93.73	74	85	0	11
佐渡	3	89.00	13	12	0	-1
新潟西	4	85.94	31	32	1	1
佐渡南	4	87.88	46	42	5	-4
新潟北	4	84.05	36	36	0	0
新潟中央	4	83.33	22	23	1	1
新潟万代	4	91.46	38	39	6	1
第3分区(6クラブ)	／	77.30	143	143	7	0
新津	4	72.00	22	25	0	3
村松	4	80.00	9	9	0	0
五泉	4	88.25	20	21	3	1
白根	4	85.94	50	48	2	-2
新津中央	4	78.23	32	31	1	-1
阿賀野川ライン	3	59.40	10	9	1	-1
第4分区(11クラブ)	／	82.10	363	355	17	-8
三条	4	84.58	54	54	0	0
燕	4	72.59	24	25	0	1
加茂	4	73.47	37	31	5	-6
三条南	4	93.84	46	44	0	-2
分水	4	92.23	30	29	2	-1
見附	4	82.00	18	18	1	0
吉田	4	87.87	35	33	1	-2
三条北	4	87.32	69	71	3	2
巻	4	83.90	13	12	0	-1
田上あじさい	4	62.50	5	6	1	1
三条東	4	82.76	32	32	4	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	6月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	86.20	304	307	29	3
長岡	3	89.25	41	44	2	3
柏崎	4	81.25	46	47	0	1
長岡東	4	87.90	65	63	6	-2
柏崎東	4	93.26	44	44	4	0
栃尾	3	84.00	23	25	0	2
長岡西	4	83.33	42	44	5	2
柏崎中央	4	84.38	43	40	12	-3
第6分区(6クラブ)	／	86.91	147	148	6	1
十日町	4	96.00	33	32	0	-1
小千谷	4	86.83	37	38	3	1
雪国魚沼	4	79.20	19	21	1	2
十日町北	4	93.17	21	22	1	1
津南	4	91.35	26	24	1	-2
越後魚沼	4	74.90	11	11	0	0
第7分区(9クラブ)	／	87.77	313	304	26	-9
高田	4	100.00	59	59	1	0
直江津	4	80.88	44	37	2	-7
新井	4	84.17	32	29	3	-3
糸魚川	4	76.94	35	36	1	1
妙高高原	3	94.00	5	4	0	-1
高田東	4	81.76	38	37	2	-1
糸魚川中央	4	81.06	34	34	0	0
頸北	3	95.50	16	15	1	-1
越後春日山	4	95.65	50	53	16	3

クラブ数	57	クラブ
7月1日 会員数	1,996	人
6月末 会員数	2,009	人
女性会員数	137	人
純増減会員数	13	人
当月平均出席率	85.71	%



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第2560地区 鈴木ガバナー事務所

〒940-0066 長岡市東坂之上町1丁目2-1 長岡グランドホテル5階（百合の間）

TEL / 0258-89-7041 FAX / 0258-89-7043 E-mail : s.suzuki@rid2560niigata.jp
